

令和2年度 第2回大阪府立金剛高等学校・学校運営協議会

【日 時】 令和2年10月17日(土) 13:00~15:00

【場 所】 金剛高等学校会議室

【出席者】 村上佳司(桃山学院教育大学)、大山口公治(金剛会代表)、金和子(とんだばやし国際交流協会)、松田広宣(PTA)、下阪善彦(地域協議会)、大熊浩(葛城中学校長) 運営委員並びに初任者

【協 議】

1. 学校運営計画の進捗状況について(上本校長)

- ・多様性の尊重、地域性の重視などを特長とする高校としての実績を生かし、「社会に開かれた教育課程」の理念を追求する普通科専門コース再編に取り組む。そのため将来構想検討委員会を13回開催し、枠を超えて課題を解決しようとしている。
- ・教職員の新型コロナウイルスによる仕事量増加やストレスを心配している。
- ・総合的な探究の時間で人権学習など計画を立てて授業を行っている。
- ・体育祭・文化祭などの行事も行った。
- ・地域との交流は、相手都合で中止になったもの以外は開催している。
- ・進路状況は、進学・就職とも生徒は現在真最中で、生徒は頑張っている。
- ・6月予定の遠足は10月に延期し、今月末に行う予定である。
- ・教員への研修は、8月に富田林支援学校と松原高等学校から先生をお招きし「生徒と一緒に育つ」をテーマに行った。10月には人権研修としてフィールドワークと講演を開催した。
- ・支援が必要な生徒は、教育相談室を通しスクールカウンセラーに繋いでいる。支援が必要な生徒は増加しており、カウンセラー在回数を増やして対応している。
- ・何もしないとだらけてくる生徒がいるが、生活指導部が体を張って指導してくれている。ただし、生徒指導案件はそれほど多くなく、教員が未然に防いでくれている。
- ・部活・自主活動など、生徒は頑張っている。行事などを通し、自主性を伸ばしてきた。
- ・現在、金剛高等学校への入学希望者は387名いる。

2. 進路実現の取組みについて(朝隈)

- ・今年は新型コロナウイルスの影響で10月16日に就職試験が解禁される。例年より1ヶ月遅れである。
- ・今年の3年生は9名が学校推薦での就職希望。
- ・公務員は3,4名が受験。
- ・新型コロナウイルスによる高校生の就職への影響は、金剛高等学校は今のところ無い。しかし、他校では影響が出ているという話もある。
- ・総合型選抜(旧AO入試)は10月に受験。森ノ宮大学、阪南大学、四国大学など。
- ・11月には面接試験が多い。これからも面接指導を行う予定である。
- ・いくつかの企業はリモートでの面接を提示されたが、対応できない方法であったため1件辞退した。
- ・今年度は企業訪問できていない。

3. 共生推進教室の進捗状況について(瀧井)

- ・現在、職場体験・職場実習中。
 - ・1年生は例年夏にある職場体験が出来ず、10月末に職場体験実施予定。
 - ・2年生は2回目の職場体験を終えた。概ね感触はよく、どのような方面が向いているか結果を見ながら3年を迎えたい。
 - ・3年生は実習先の会社との相性が良い。職場実習は2名終了した。この後面接に進む。
1名はあと1週間実習がある。先の2名と同じく面接に進むことが出来れば良いと考えている。
 - ・9月に実施した令和3年度入学の共生推進教室の説明会には5組が参加した。
本人、保護者と、中学校の教員が参加している組もあった。

4. 各種学校行事について(太平)

- ・体育祭・文化祭ともに無事に終了した。時勢や地元の祭りの予定を鑑みながら、連続した日程を設定した。

- ・体育祭は例年の6月から、9月24日にし、1時間短縮して開催。1人2競技に出場出来るようにした。3年生が主になって行う応援団は紆余曲折あったが、3学年教員の協力もあり出来た。
- ・文化祭は9月初旬から9月26日に、例年の2日間開催から1日開催にした。劇は全体鑑賞ではなく、観たいと思う生徒が自由に観るというスタイルをとった。コロナ対策で、席の間隔をとるなどで上演した。生徒と担任はとても努力していた。その他も展示やパフォーマンス、対策を行った上で食品バザーなどがあった。
- ・体育祭・文化祭ともに後日行ったアンケートでは、満足度は高い結果が出た。4日間で2つの行事をこなすのはしんどいながらも達成感があった。1年生の中には、やっと金剛高校に入った実感がしたとの声もあった。教員へのアンケートでは、体育祭は6月に戻して欲しいという声が多かった。

5. 各学年の様子

・3学年(39期生)(梅木)

体育祭・文化祭はとても頑張った。担任中心に動いてくれた。ルールを守り楽しんでいた。

文化祭の劇は例年よりも観客が少なくなるので、準備など心配していた。夏休み明けすぐに声をかけて、早めに準備することが出来、完成度の高い劇に仕上がった。行事が終わった後、欠席が増加するという事は無かった。

10月末の遠足の後は、卒業まで走り抜けて欲しい。

進路状況は、新型コロナウイルスの影響により就職試験・総合型選抜ともに1ヶ月後にずれる。

一般試験で頑張ると言っている生徒の中には、中間考査の成績が落ちた子もあり、心配している。

卒業できるか厳しいところにいる生徒も頑張っている。

・2学年(40期生)(文書：田嶋、代理：備後教頭)

現在2年生は10月末の遠足(神戸)・1月末の修学旅行(北海道(富良野・札幌))に向けて準備を行っている。

修学旅行では、スキーやスノーボードと、3~6名のグループ別に札幌市内散策をする。

新型コロナウイルスに関するガイドラインを策定し、それに則って準備をしている。

9月19日には、保護者説明会も行い、コロナの中での修学旅行実施へ理解をしてもらった。

保護者から出た質問も、新型コロナウイルスに関する心配よりも旅行に関するものであった。

遠足は札幌の練習として、三宮・北野を中心に散策する。HRで行き先・移動手段・移動時間を考えて計画を立てさせた。

体育祭・文化祭では、タイトなスケジュールの中、応援団・クラスの出し物の練習に取り組んでいた。

前年度とは違う形での開催であったが、両方の行事をして良かった。3年生を見て、来年応援団や劇をしてみたいという声がアンケートにも記されていた。

・1学年(41期生)(松永)

新型コロナウイルスの影響により2ヶ月遅れの高校生活スタートとなった。

9月末の文化祭・体育祭以前に行事がないので、持つのかな?と心配していた。体育祭は、団旗制作・応援団に多数の生徒が参加し、楽しんでいた。文化祭は、バタバタしながらも楽しそうにしていた。

ただし、兄弟や先輩から聞いていたイメージと違ったという声もあった。来年また頑張りたい。

中間考査では、欠点が多い生徒は特にいなかった。皆頑張っていた。

遠足は海遊館を予定している。近辺でも何か出来る場所が無いか考えている。しおりの挿絵を生徒に描かせてみようと思っている。

一人一人は元気があるものの、集団になると大人しくなるので、学年レクリエーションなどで生徒自身で動くことなどをさせていきたいと思っている。

6. 学校説明会関係

中止・ウェブ開催が多い。しかし、11月7日開催のオープンスクールは、早い段階で参加希望が300人を超えた。出来る範囲で広報活動をしていきたい。(山本)

◎意見交換

●共生推進教室の1年生の夏の実習が中止になったが様子はいかが?(村上)

→7月に予定していた職場体験が秋に延期になったが、その分1月に5日間の体験を調整している。

3人とも、わりと順調に学校生活を過ごしている。このまま上手く伸びていって欲しい。(瀧井)

●来年度の体育祭・文化祭はどのように考えているか。また今年充実した要因は。(村上)

→生徒を教員が声かけをしてせつつ事で、良いものが出来たと思う。また、劇の練習が例年よりも1回増えた事も良い方向に行ったので、来年も同じように出来ればと思う(梅木)

●体育祭・文化祭について、1年生が「イメージと違った」言っていたとの事だが。(村上)

→金剛高等学校の体育祭・文化祭は楽しい・凄いいった評判があるので、今年度の縮小しながら2つを同時並行で行ったことに違和感があった生徒がいた。懸念する部分もあるが、状況に合わせて変わる事もある。ただし、だからといってレベルが落ちる事は無いと思う。(松永先)

●1年生は大人しいとの話だが、実情はどうであるか。(村上)

→教員はしっかり生徒の状況を把握している。昔は学年が上がるごとにだらける事があったが、今は“憧れの先輩になりなさい”と生徒に話しており、実際に力がついている。(上本校長)

●授業をどのような計画で進めているのか。(金)

→授業日数確保をする事は指示されているので、土曜授業や夏休み・冬休みの短縮をして対応している。授業時間数は、例年より少ない。教科の教員が考えながら、授業を進めている。(菅野)

●新型コロナウイルス対策を具体的に教えて欲しい。(金)

→37度以上の体温・鼻水や咳など風邪症状が出れば休むように指示をしている。またマスクの着用、手指消毒、体育など外で活動後は石鹸で手洗いなどを指導している。教職員は電気のスイッチやドアノブなど、不特定多数が触る場所の消毒を、放課後に行っている。冬のインフルエンザ流行時に備え、加湿器を購入・設置を予定している。(川島)

●学校の授業の中で新型コロナウイルスについて話し合う時間を持っているのか。(金)

→なかなか取れていない。ただし、来年の修学旅行場所の東北は震災10年目である。震災に関する学習や貧困学習などには取り組む予定である。(松永)

→3年生はもっと時間が無く出来ていない。体育祭の応援団の際のマスク着用や、日々の中で「マスクを着けなさい」と指導はしている。昨年まで良かった事でも、今は通用しないと生徒に伝えている。(梅木)

●新型コロナウイルスに関する事は授業でなくても、生徒たちに話す時間が必要なのではないか。(金)

→コロナ差別は人権問題で、教育庁からの指示を教員には文書で配っている。生徒も分かってくれている。金剛高等学校は今のところ陽性者はいないが、正しく恐れる事が必要。(備後教頭)

→金剛高等学校は人権学習に力を入れている。また新型コロナウイルス陽性者が出たら出たで、次を考える。周りが見えなくならないように、熱くなり過ぎないようにしていく。(上本校長)

●部活は新型コロナウイルス流行前後で違いはあるのか。(松田)

→バスケット部は6月末まで大会は無くなった。9月までは高体連以外の組織主催の試合に参加。9月からは無観客で開催。会場を広いところにするなど、対策を考えながら開催する方向になっている。クラブにもよるが、例えば剣道部は面の中にシールドを着け、活動後は手洗いをしている。金剛高等学校は全ての部活が活動している。(太平)

●新型コロナウイルス関連の判断基準は何か。(大山口)

→府からのガイドラインがあるが、最終判断は学校にある。(備後教頭)

●3年生の進路を心配している。大きな変化はあったのか。(村上・下阪)

→大学入試は厳しいが、生徒は進路に相談してくれている。今年は思ったより順調である。(朝隈)

次回 令和3年2月6日(土) 1月に正式に案内